

防災重点 ため池マップ

このマップは、令和元年5月に山梨県より選定された『防災重点ため池』及びその他の市内ため池において、晴天時の地震等によって決壊した場合に、どのような被害となるかを知るために、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

災害の状況によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性があります。

※ 各最大浸水深が重なる箇所は最大値を表示しています。

※ 平成26年2月作成の資料に基づき作成しています。

防災重点 ため池	名称	所在地	貯水量	堤高
●	南伊奈ヶ湖	上市之瀬1760	105,00トン	12.0m
●	南伊奈下（菖蒲池）	上市之瀬1760	4,000トン	7.8m
●	湯沢貯水池	秋山1264	7,500トン	10.0m
●	淵ため池	上宮地64	1,900トン	4.6m
●	北伊奈ヶ湖	上市之瀬1760	18,800トン	5.2m
	立沼	平岡 地内	2,200トン	8.0m
	山の淵ため池	中野 地内	5,400トン	13.0m

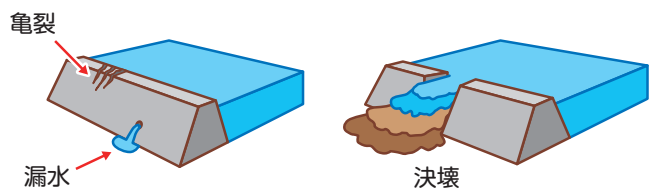
ため池が決壊するとき

●大雨のとき

台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上昇すると堤防を乗り越えた水の力により堤防が浸食され、決壊する事があります。また、流木などがため池の洪水吐をふさぐとさらに水位が上昇し水が越流しやすくなり、決壊の危険性が高まります。

●大地震のとき

大地震が発生すると、ため池の堤防は異常な力を受けて亀裂や沈下が発生し、堤防の強度が低下するため決壊の危険性があります。



最大浸水深	
	3.0m以上
	0.5～3.0m未満
	0.5m未満

